

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2016-187704(P2016-187704A)

【公開日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-157011(P2016-157011)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日(2017.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

予め定められた第1異常又は第2異常が発生していることを示す異常情報を検出する検出手段と、

前記検出手段にて前記異常情報が検出された場合に、外部情報端子を介して遊技機の外部に出力可能であると共に、前記異常情報を報知可能な報知手段と、

を備え、

前記報知手段は、

前記第1異常が検出された場合には、前記第1異常を報知するものの、前記第1異常が発生していることについて前記外部情報端子を介して出力せず、

前記第2異常が検出された場合には、前記第2異常を報知すると共に、前記第2異常が発生していることについて前記外部情報端子を介して出力可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このような遊技機には例えば液晶表示装置の前面側に移動するような可動役物を用いることがあり、可動役物等の遊技機の一部において故障してしまうと遊技の興趣を著しく低下させることになっていた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上述した課題を解決するためになされたものであり、遊技の興趣の低下を抑

制することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機(1)は、予め定められた第1異常又は第2異常が発生していることを示す異常情報を検出する検出手段(1101、1151)と、検出手段にて異常情報が検出された場合に、外部情報端子(1124)を介して遊技機の外部に出力可能であると共に、異常情報を報知可能な報知手段(1101、1151)と、を備え、報知手段は、第1異常が検出された場合には、第1異常を報知するものの、第1異常が発生していることについて外部情報端子を介して出力せず、第2異常が検出された場合には、第2異常を報知すると共に、第2異常が発生していることについて外部情報端子を介して出力可能であることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明によれば、遊技の興趣の低下を抑制することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1070】

1...遊技機(遊技機)

1101...CPU(検出手段、報知手段)

1124...遊技情報出力端子板(外部情報端子)

1151...CPU(検出手段、報知手段)